

ゼロ

0から創る奈良

2013.1.26.SAT

vol.61

市民が主役の奈良市政をめざします。

topic

クリーンセンターと東部振興

2013年1月26日 仲川げん後援会

仲川げん

書:紫舟



現在奈良市が取り組んでいる2大テーマと言えば火葬場とクリーンセンターの移転建設問題です。どちらも現施設が大幅に老朽化しており早期建替えが必要な状況ですが、移転候補地の選定や合意を得るために歴代市長もこれまで多くの時間を費やしてきました。特にクリーンセンターについては2005年に成立した公害調停に基づき建設計画策定委員会を立ち上げ、これまで50回にも及ぶ議論を積み重ねてきました。これまで委員会で示されていた東部地区の2か所の候補地案に対して地元からは、パッカー車や市民の持ち込み車両などによる渋滞問題が過疎化に拍車をかける事を懸念する声が強くなり、現時点では合意には至っていません。これに対し奈良市では地元要望でもある国道の大幅改良(3km区間のうち2km)を二度に渡り提案しましたが「全面4車線化とは程遠い」として平行線に終わっています。

そのような状況で開催された先日の委員会では、まず2か所の候補地を一か所に絞り込むとともに、市から新たな渋滞緩和策を提案させて頂きました。これは当初計画では収集基地や焼却施設・リサイクルセンター等、全ての機能を新たな候補地に集約する案でしたが、これをサテライトセンター(中継地点)に機能を分担させることで、通行車両数を1,346台から最大79台にまで低減できるものです。またこれにより、個々のパッカー車が直接遠くまで運搬する必要がなくなるため、収集運搬コストも押さえる事が可能です。さらに本年4月からは収集業務の民間委託を開始しますので、現在のコストと比べれば削減効果はさらに大きくなります。また各家庭でのごみ減量も加われば建設コストも押さえる事が可能です。ごみ行政は市民にとって一日も欠かす事の出来ない問題だけに、何としても候補地の理解が得られるよう、総合的な東部振興計画を策定し、単なる迷惑施設ではなく、地域の発展に寄与できる施設として積極的な提案をしていきたいと思っております。

市長ブログ、更新中!

市長ブログでは、市政の動きやマニフェストの進捗状況、その他諸々、更新していきます!携帯からもご覧いただけます。→



市長の日常をより身近に
Twitter始めました。→ @nakagawagen



<http://www.nakagawagen.net/blog/>

プロフィール

1976年(昭和51年)奈良県生まれ。
北大和(現奈良北)高校を経て、1998年立命館大学経済学部卒業。
帝国石油(現国際石油開発帝石)株式会社を経て、2002年より、NPO法人奈良NPOセンターで勤務。県内NPOの活動支援を行う一方、子どもの体験プログラムや学びを通じた地域活性化事業に取り組む。現場で活動する中、社会を抜本的によくするには、政治や行政を変革する必要があると強く感じ、政治の道を志すことを決意。2009年7月、「ゼロから創る奈良」を掲げ、奈良市長に当選。
共著「赤ずきんと新しい狼のいる世界～子どもの安全・保護と自立のはざままで～」(2008年・洋泉社)

<http://www.nakagawagen.net/>

Email: info@nakagawagen.net

1月後半の活動報告

11日(金)奈良県市長会定例会、近鉄・奈良国道事務所・奈良市医師会ほか年始挨拶、職員養成塾(椎川忍・前総務省自治財政局長)
12日(土)予算ヒアリング、通夜、「好きなまちで仕事を創るプロジェクトin奈良」交流会、大安寺西地区懇親会
13日(日)後援会打合せほか
14日(月・祝)奈良市成人式@中央体育館、市障連新成人の集い@総合福祉センター
15日(火)庁議、予算ヒアリング、都跡地区万青役員新年会、公明党新春年賀会
16日(水)名古屋グランパス榑崎選手表敬訪問、予算ヒアリング、奈良市自治連合会新年懇親会、奈良町座新年会ほか
17日(木)予算ヒアリング、第50回クリーンセンター建設計画策定委@人権啓発センター
18日(金)定期監査結果報告、社労士会・JR西日本・奈良交通ほか年始挨拶、職員養成塾(木下齊・地域活性化伝道師)
19日(土)東部地区・二名地区・奈良帝塚山地区・大安寺地区・済美地区・佐保川地区ほか新年会、右京小地域学習発表会@北部会館
20日(日)【出張】奈良市・太宰府市友好都市提携10周年記念交流事業@福岡県・太宰府市
21日(月)【出張】大分県宇佐市・是永市長会談、安心院グリーンツーリズム研究会視察、中津市「風の丘火葬場」視察
22日(火)庁議、生駒市・香芝市との協議、市長と気軽にトーク、火葬場問題・リニア推進計画ほかMTG、奈良JC賀詞交歓会
23日(水)多賀城市派遣職員帰庁報告、火葬場問題ほかMTG、予算ヒアリング、奈良市旅館ホテル組合・もちいどのセンター街懇親会
24日(木)定例記者会見、奈良の子育てほっと企業表彰式、予算ヒアリング、西大寺北地区・椿井地区・奈良商工会議所青年部新年会

重い負担の中身は？

現在奈良市では来年度予算の編成作業が終盤に差し掛かっています。伸び悩む税収・伸びる社会保障費という構造上の問題に加え、市独自の厳しさがあるのが公債費(借金返済)です。今年度は予算ベースで約172億円と全体の14%を占めます。(うち元金141億円・利子31億円)

では一体いつ、何の目的で借金をしたのでしょうか。行政では単年度で費用負担ができない大規模事業や、道路のように(建設時だけでなく)将来世代に渡って受益されるものを起債(借金)によって財源を賄う事がありますので、一概に借金の全てが悪、という訳ではありません。しかし過大な箱モノ事業や市民に何ら受益が発生しないものにまで、巨額の借金が行われてきたのも事実です。

例えば現在清算手続き中の土地開発公社はその典型といえます。公社では従来、元金は返済せず利子分のみを金融機関に支払ってきましたが、この方法ではいつ

までも負の遺産を解消できず、結果として将来世代へのツケ回しになってしまいます。そこで昨年、根本的な対策として、公社が抱えていた高金利(約2.5%)の借金を超低金利(約0.6%)で市が借換えを行い、負担の軽減に取り組みました。(従来方式と比べ、完済までの20年間で利子総額は約86億円削減)しかしそれでも今後毎年、約9億円の返済が必要となります。

一方奈良市の公債費のうち、最も大きなウエイトを占めるのが100年会館建設に伴う償還です。1999年に開館した同会館は、市政100周年を記念して建てられたものですが、総額294億円という巨額事業はバブルの産物というにはあまりにも重い負担です。今、私たちが負担している借金は、「いつ、誰が、何の為に借りたものなのか?」、果たしてその中身は将来世代に「正しかった」と胸を張れるものなのか、しっかりと吟味する必要があります。

後援会からのお願い

毎週金曜日(午前7時~8時)は朝立ち(駅頭演説)を続けています。市民のみなさんと直接出会える貴重な機会だと思ひ、市政報告やニュースレターの手渡しをしています。配布&運転ボランティアを募集中です。1回でもかまいません。ご協力お願いします。詳しくはチラシを配布している後援会スタッフか、事務局までお知らせください。

「市長への手紙」であなたの声をお聞かせください。「市長への手紙」は、市民の皆さんの市政に対するご意見やご提言を広く市政に反映させる制度として実施します。専用封筒は、市役所や公民館などの市の施設に配置しています。「市長への手紙」に関してのお問い合わせは、市広報広聴課まで。

仲川げん後援会

<http://www.nakagawagen.net/>
Email info@nakagawagen.net
FAX 0742-26-0398

ご意見を

奈良をこんな街にしたい、こんなことで困っているなどのご意見がありましたら、どんな小さなことでもお聞かせください。暮らしやすい街を一緒に創っていきましょう!

